

27年8月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年 8月1日～ 27年8月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は8社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 27/8月 | 9月 | 10月 |
|------|--------|--------|------|------|
| 入荷動向 | 国産材製材品 | 0.0 | 25.0 | 25.0 |
| | 外材製材品 | 0.0 | 12.5 | 12.5 |
| | その他 | 8.3 | 8.3 | 8.3 |
| 販売動向 | 国産材製材品 | △ 12.5 | 25.0 | 25.0 |
| | 外材製材品 | △ 6.3 | 18.8 | 25.0 |
| | その他 | 8.3 | 16.7 | 16.7 |
| 在庫動向 | 国産材製材品 | 6.3 | 12.5 | 18.8 |
| | 外材製材品 | △ 6.3 | 12.5 | 12.5 |
| | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

・国産材及び外材製材品の入荷は8月の横ばいが9月、10月は増加。その他製材品は3ヵ月連続してやや増加。
・国産材及び外材製材品の販売は8月の減少が9月、10月は増加。その他製材品は3ヵ月連続して増加。
・国産材の在庫は3ヵ月連続して増加。外材は8月の減少が9月、10月は増加。その他製材品は3ヵ月連続して横ばい。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 27/8月 | 9月 | 10月 |
|---------------|-------------|-------|------|------|
| スギ | 柱角 KD10.5×3 | 6.3 | 18.8 | 6.3 |
| | 柱角 KD12×3 | 6.3 | 18.8 | 6.3 |
| | 通し柱 12×6 | 0.0 | 8.3 | 8.3 |
| | 桁角 | 0.0 | 12.5 | 6.3 |
| | 母屋角 | 0.0 | 12.5 | 6.3 |
| | タルキ | 7.1 | 14.3 | 7.1 |
| | 間柱 | 12.5 | 31.3 | 18.8 |
| | 加工板 | 0.0 | 7.1 | 7.1 |
| | ヌキ | 0.0 | 14.3 | 7.1 |
| | 平割 | 6.3 | 18.8 | 12.5 |
| ヒノキ | 柱角 KD10.5×3 | 12.5 | 18.8 | 12.5 |
| | 柱角 KD12×3 | 14.3 | 21.4 | 14.3 |
| | 土台角 10.5×4 | 18.8 | 25.0 | 18.8 |
| | 土台角 12×4 | 14.3 | 28.6 | 21.4 |
| | 通し柱 12×6 | 0.0 | 7.1 | 14.3 |
| カラマツ土台角10.5×4 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | |
| 米マツ平角 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | |
| 米マツ割物 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | |
| 北洋エゾマツタルキ | 0.0 | 0.0 | 16.7 | |
| 北洋アカマツタルキ | △ 8.3 | 0.0 | 8.3 | |

・スギ製材品の価格は総じて保合ないしやや強含み。
・ヒノキ製材品の価格は総じて強含み。
・カラマツ土台角、米マツ平割、割物及び北洋エゾタルキの価格は、8月、9月の横ばいが、10月はやや強含み。北洋アカマツタルキは8月の弱含みが、9月横ばい、10月強含み。

モニターからのコメント

(荷動き)

・入荷順調。WW33723000品不足、WW4mもの品不足あり。スギ材防音工事9月予定あり。ビルダーの動き悪く、アカマツタルキP動かず。荷動き悪く在庫やや増加、アカマツ・米ツガ在庫横ばい、WW品不足あり（関東）。
・8月の入荷は前年並み。販売は内地材、外材共に前年より1割程少ない。在庫は前年並み、変わらず（中部）。
・素材入荷減続く、販売は盆休みもあり減少見込み、見通しは期待感多しか？（中部）。
・原木価格は上がってきている。しかし、市況が未だ追いつかない現状（九州）。

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 60,000円/m³、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材) 40,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 63,000円/m³、スギ加工板 (東北グリーン材) 束2,800円、(KD) 束4,000円、スギヌキ (東北) 38,000円/m³、(秋田) 48,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 40,000円/m³、ヒノキ柱角 (KD)・土台角85,000円/m³、米マツ平角KD65,000円/m³、米マツ割物AD65,000円/m³、北洋アカマツタルキ (S) 68,000円/m³、(P) 58,000円/m³ (関東)。
- ・スギ柱、桁角は、秋には若干上昇が見られるか。スギその他は、相場が下がり過ぎたので、若干持ち直すと思う。ヒノキの需要は地域差があり全国的ではないので、スギに比べると値動きの変動が小さい。10月後半以降に値が動けば良し。外材 (米マツ) の需要も今イチで、10月に入るまでは目立った動きは起こらないだろう。北洋エゾ、アカマツタルキは需要次第 (中部)。
- ・スギ柱、桁角は、一旦下がったが、その後は品薄になり横ばい。上がるまでは行かないか？スギ小割類は、九州・四国メーカーが減少、ヒノキは底値にて安定、見通しは期待も含まれるか？ (中部)。
- ・WWに品不足でスギ材に移行している。ヒノキは雨の影響で原木が値上がりしている (近畿)。